



能登町長
持木一茂

明けましておめでとうございます。能登町の皆様におかれましては、新たな気持ちで新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、多くの皆様のお力添えで、実り多い一年となりましたことを改めて感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、嬉しい出来事の一つはテニスの錦織選手の活躍だったと思います。日本人も世界の一流選手と戦って「勝てる」という自信を国民に与えてくれました。二つ目は、青色発光ダイオードの発明によりノーベル物理学賞を3名の日本人科学者が受賞され、科学技術の高さが世界に認められたことがあげられます。不幸な出来事としては、日本各地で火山の噴火が相次ぎ、中でも御嶽山では57人が死亡、6人が行方不明となっ

謹賀

新年

あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、日ごろから議会活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと国内では、消費税が8パーセントになったこと、広島県の土砂災害、御嶽山噴火、12月の衆議院議員総選挙などがあげられようかと思えます。その中で最大の関心事は、私たちの日常生活に大きな影響があった消費税増税が挙げられようかと思えます。

町では、本年3月1日に新町誕生よ



能登町議会議長
鍛冶谷眞一

ております。また、広島市北部で発生した大規模な土砂災害では、74人が犠牲となり、多数の住宅が倒壊するなど深刻な被害が発生しました。能登町では幸いにも大きな災害は起こらず、安心して過ごすことができましたが、日頃から災害に対する意識を深め、備えておくことの大切さを再確認させられました。

昨年末に、日本漢字能力検定が一年の世相を表す漢字一文字を「税」と発表しました。4月に行われた消費税5パーセントから8パーセントへの引き上げや「政治とカネ」の問題が頻繁に取り沙汰されたことが理由だったそうです。

地方自治を預かる者の一人といたしましては、この一文字を重く受け止めておりますし、皆様からお預かりした「税」を有効に、また効果的に活用させていただくためにも、今後とも透明性・公正性の確保に努めてまいりたいと考えております。

さて、今年の県内でのイベントとしては、3月14日に北陸新幹線の新潟開業が予定されております。また、3月30日からは能登を舞台としたNHKの朝の連続テレビ小説「まれ」の放送が

開始されます。他にも、能越自動車道七尾・氷見間の開通が予定されており、交流人口拡大を目指す能登町の未来にとって重要な一年となるでしょう。町の魅力をさらに磨き上げて存在感を高め、首都圏と深く絆を結ぶ大きなチャンスにしていきます。

幸いなことに、今年3月1日には能登町が誕生して10周年を迎えます。この10年の節目にあたり記念式典を開催するとともに能登町の魅力を内外に発信するため、町民の皆様から公募したものを含め、様々な記念事業を実施いたします。

これからの能登町を発展させるためには、町民の皆様をはじめ各種団体、議会、行政の協力がますます重要性を増し、その連携を一層強化しなければなりません。私自身も、これまで以上に緊張感をもって町政運営にあたり、皆様と力を合わせながら、住みたい、住んでよかったと思っていただけのように、今年も全力で取り組んでまいります。

町民皆様の日頃の町政へのご協力、ご理解に心から感謝を申し上げますとともに、今年一年のご多幸とご健康を心から祈念申し上げ、謹んで年頭のご挨拶といたします。

「過去には帽子を脱いで敬意を表し、未来には上着を脱いで立ち向かいなさい。」というある劇作家の言葉ですが、私たち町議会といたしましても、先人たちが築いてきた過去に敬意を表することを忘れず、町政発展のため町民の皆様のご意見をいただきながら、より積極的なまちづくりを進めていくことができますよう全力を挙げて努力してまいります。

結びに、皆様にとりまして、本年が健康で幸多き一年となりますよう心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

町議会としては、昨年11月1日より18人の定数から4人減の14人としてスタートし、改選と同時に「通年議会」と呼ばれる制度を導入いたしました。議会は少しずつではあるかもしれませんが、改革を行い、活性化を図っていきます。

迎えのあえのこと

ユネスコ無形文化遺産に登録されている農耕儀礼「あえのこと」。12月5日は田の神様を迎え入れる行事が各地で行われました。



合鹿庵

柳田植物公園の「合鹿庵」では、上町の中正道さんが、田から神様を招き入れ、風呂や食事でもてなす一連の動作を披露しました。80人あまりの見学者は中さんの所作を撮影するなど、真剣に見入っていました。



神野公民館

神野公民館では行事の継承を目的に、公民館行事としてあえのことを実施しています。

鶴町の場清一さんが主人役を務め、公民館のホールで住民らが見守る中、田の神様を迎え入れました。



国重田の神様保存会

国重の吉村安弘さん宅では、地区に住む人で組織する「国重田の神様保存会」が儀礼を行いました。会員らがそれぞれ、自分の家から田の神様を連れて来るとい形式で実施しています。主人役を務める会長の吉村安弘さんとともに、一年の収穫に感謝を表し、豊作を願いました。



会員宅から持ち寄られたお供えの米

行事伝承の現状 金大生が調査

金沢大学人文学類4年の野本裕雅さんは、柳田地区のあえのこの伝承状況を調査しています。12月5日は教員や他の学生とともに合鹿庵や国重などを巡りました。夕方、一般の家庭で行われているあえのこの実態を確認するため、神和住の岩住政昭さん宅を訪ねました。岩住さんはこの儀礼を「タノカミサマ」と呼んでいます。学生らは服装や料理、供え物などを写真に収めたり、メモを取るなどして記録しました。



あえのことは家によってそれぞれのやり方があり、人に見せる機会も少ないため、知られていない部分が多くあります。町教育委員会は野本さんと協力して調査を進め、伝承の状況を記録することにしています。



岩住さん(手前)による儀礼を記録する野本さん

県ロシア協会 総領事ら招き慰霊祭
ロシア兵の冥福を祈る

在新潟ロシア総領事館のヤーセネフ・セルゲイ総領事らを招いた「ロシア人墓地慰霊祭」が11月15日、ロシア兵慰霊碑がある町内3カ所で行われました。

町には、日露戦争の際に遺体で流れ着いたロシア兵のために、小木と内浦長尾、松波に慰霊碑があります。県ロシア協会が主催し、総領事館と協会関係者や地元住民ら計15人が参列。手を合わせて献花したり、ウオツカを供えたりして兵士の冥福を祈っていました。



慰霊碑に祈りをささげるセルゲイ総領事＝小木・高瀬山

参加者は真剣な表情で発表に聞き入った



能登北部地域ボランティア交流会
より良い地域活動をめざす

能登北部地域ボランティア連絡会主催のボランティア交流会が12月3日、「コンセルのと」で開かれ、奥能登2市2町で活動する約100人が参加しました。高木米子連絡会会長のあいさつに続き、5団体が活動を発表。町からは「寺五お楽しみ会」の上野俊次さんと、「七見なかよしサロン」の木戸脇久米仔さんが事例を発表しました。参加者はより良い活動につなげようと、積極的に情報を交換していました。

風景を楽しみながら湾内を巡る参加者



小木のグリーンキーパーズが企画
シーカヤックで九十九湾満喫

小木地区の住民有志でつくる「グリーンキーパーズ」の秋のシーカヤック体験は11月2日、九十九湾で行われ、住民ら21人が地元の自然を満喫しました。

カヌー店を営む七尾市の渡邊徹さんが案内役を務め、パドルのこぎ方を指導。雨は降ったものの気温の低下はなく、参加者はリアス式海岸の入り組んだ地形や離島周辺を巡り、見たことのない九十九湾からの風景や植生を楽しみました。

人権作文表彰
作文を書いたときの気持ちを大切に

全国中学生人権作文コンテストの表彰式が12月4日、役場能都庁舎で行われました。金沢地方務局輪島支局管内では、12校から641編の応募があり、町からは8人が入賞しました。

いじめなど身近な話題から、フェアトレードなどのグローバルな規模まで、幅広い視点で人権についてつづられました。輪島人権擁護委員協議会能登部会の本谷憲一部会長は「作文を書いたときの思いを持ち続け、人権を守ることに取り組んでください」とあいさつしました。

■県人権擁護委員連合会長表彰

・優秀賞 岡田香菜子（柳田中2年） ・入選 首田千尋（柳田中3年）、板谷海彩（小木中2年）

■輪島人権擁護委員協議会長表彰

上記の3人と、廣澤采奈（柳田中3年）、吉村結理（能都中3年）、二又美友（同3年）、土場優雅（小木中3年）、餅木由佳（同2年）



県優秀賞の岡田さん



2014 関西能登会のつどい
会員・関係者が親睦深める

関西在住の能登町出身者でつくる関西能登会の「2014 関西能登会のつどい」は11月24日、大阪市中央区のアークホテルで開かれ、会員・関係者ら36人が親睦を深めました。

北正男会長が「能登町の合併10周年や北陸新幹線金沢開業を控え、会員一同ふるさとを盛り上げていこう」とあいさつ。来賓として出席した高雅彦副町長がふるさとの近況を交えながら祝辞を述べました。



2014 関西能登会のつどい

記念撮影に臨む会員・関係者

能登国際交流サロン
アフリカでの活動を紹介

能登国際交流サロンは11月18日、役場能都庁舎で開かれ、町地域おこし協力隊の川畑智恵さんが、アフリカのマラウイ共和国で、青年海外協力隊として活動した経験話を話しました。

サロンには国際交流に興味のある人など約15人が参加。湖から捕れたワニの話や3万円程度という平均月収に驚き、貧しいけれど笑顔で生きるマラウイの人たちの心の温かさを感じていました。



青年海外協力隊員としての活動を語る川畑さん

警察官とともに不審者探索訓練に臨む協力会員



沿岸警備訓練
沿岸での犯罪を許さない

密入国を想定した沿岸警備訓練が11月17日、宇出津新港で行われ、町沿岸警備協会や珠洲警察署、能登海上保安署など約50人が参加しました。

ボートから上陸する不審者を見た沿岸警備協会会員が携帯電話で通報。指令を受けた警察官や海上保安署など警備を実施したほか、警察犬による探索訓練もありました。協会の櫻井隆志会長は訓練後「能登町の沿岸から事件を発生させない」と決意を述べました。

ま
ち
の
出
来
事